

Dappe



3年間、
お世話になりました！

10
2020



きよなんまち
鋸南町
KYONAN TOWN

海と山と里に
息づくいのち

「ふるさとチョイス」の自治体ページに
使ってもらっています。

atelier bonbon さんのお菓子の詰め合わせ (左) とバスクチーズケーキ (中)、
山田パラダイスファームさんの粒すけ (右) を撮影しました。



ふるさと納税 返礼品の撮影

こんにちは、地域おこし協力隊の室井です。突然ですが、鋸南町のふるさと納税を知っていますか？農作物や海産物をはじめ、宿泊券や代行サービスなど、様々な返礼品が用意されています。このご時世、こういったインターネット上で行えるサービスは利用者が増えていると思います。鋸南町のファンをより増やすためにも、写真の力や見せ方、伝え方は大事だと感じています。

地域おこし協力隊の鋸南ぐらし

観光客が求める情報

地域おこし協力隊の観光担当の清水です。協力隊として、早いものでこの町に着任して2年が経過しました。観光協会のホームページの充実と、お問い合わせメールの対応が私の業務のメインです。お問い合わせの対応をしていると、観光でいらっしゃる人がどんな情報が必要としているのかが分かります。

鋸南町の観光に関する情報誌が少ないから「観光パンフレットを送ってください」、という要望が一番多いです。また、雑誌の記事として鋸南町の水仙を紹介したいというお問い合わせをいただくこともあります。お問い合わせメールによって、気づかされるのがたくさんあります。現在、保田商店街や港通り商店街のお店の取材に力を入れています。なるべくたくさんの方の情報を集め、観光客にとって重要な情報を整理していきたいと考えています。

- 1 観光パンフレットを送ってほしい
- 2 鋸山に行くためのルートを知りたい
- 3 駅から歩いていける飲食店を教えてください
- 4 水仙を見に行きたいのだけど、水仙ロードにトイレはあるかどうか
- 5 磯遊びをしたいので、おすすめのスポットを教えてください



Dappe

発行元 鋸南町地域おこし協力隊
住所 AKARI(地域おこし協力隊拠点)
〒299-1902
千葉県安房郡鋸南町保田66-1
執筆 黒澤徹 清水多佳子 室井翼



卒業。

黒澤、

こんにちは！地域おこし協力隊、有害鳥獣対策担当の黒澤です。私の任期も今年10月をもって終了となり、11月からは鋸南町に居住する一事業者として引き続きお世話になります。という訳で今回の投稿が協力隊としては最後となります。同じ地域おこし協力隊の室井さんとのQ&A形式で。(Dappeでの登場はありませんでしたが、同じく有害鳥獣対策担当の伊藤も10月で任期満了となります。)

Q. 3年間の鋸南町地域おこし協力隊の活動、成果を教えてください。

A. 主に町が取り組む鳥獣対策のサポートをしてきました。狩猟エコツアーの運営や有害鳥獣対策協議会の事務局支援などです。地域でイノシシやシカの捕獲活動もしてきました。しかしながら活動の後半は昨年の台風15号や今年のコロナウィルスの影響で思うような活動ができませんでした。それでも、町外、県外各地に鋸南町の先進的な取り組みを事例として紹介したり、それぞれの地域にあった対策のデザインを描く際の参考にさせていただくことができました。

Q. 3年間で最も印象的なできごころは？

A. 狩猟エコツアーの運営に携われたこと。地域の皆さまとの交流を通じて、多くの都市住民を町内各地にご案内できたこと。新たなツーリズムの現場で活動できたこと。獣害対策の先進地で勉強したことを町外、県外の各地に紹介できたことなどです。

Q. 11月からの予定は？

A. 中佐久間に事業所を作り、引き続きこれからは民間組織として獣害対策に取り組みます。合同会社AMAC(エーマック)鋸南営業所、合同会社きよなん獣害対策支援センターとして安房地域の獣害対策の拠点として機能させたいと思っています。役場との協力体制を維持しつつ町の活性化に取り組みでまいります。旅行業登録もしたので、旅行事業も規模を大きくしたいです。

Q. 移住者として困ったことは？

A. 温かく迎えてくれて困ったことはなかった。安房地域の特徴かもしれない。



Q. 3年を過ごし、鋸南町に足りないと思うことは？

A. 足りないもの？条件不利な点はあってもそれは必ずしも足りないものではないと思います。それより知られていない魅力や隠れた資源、実は恵まれた条件など、可能性の方が多いと思う。活用できるかどうかは柔軟な発想と変化を恐れない勇気を持つことだと思いますが、町を愛する町民の皆さんは、胸に秘めた気持ちはお持ちなので、いつかは開花する時が来ると思っていますし、私自身にもそれを言い聞かせチャレンジし続けたいと思っています。

Q. 移住者として思ったこと。

A. 憧れの田舎暮らしは全く想定と違っていました(笑)。これはいい意味で。表面的な理解しかしていなかったことを自覚しました。これほどの充実感を伴った貴重な時間は、いくら忙しく都会でサラリーマンをしていても得られなかったと思う。

Q. これからの鋸南町の獣害対策について。

A. これからの課題は、いかに地域外の人材を巻き込み対策を推し進めることかと思う。人口は必然的に減るが、関係人口が増えることで、賑やかな集落が獣害に強い地域を作るカギになると考えている。台風被害からの復興に関わるボランティアのあり方なども応用できる手法かもしれない。

Q. これから鋸南町の住民として取り組んでみたいこと。

A. 海水浴場の復活(笑)。海の魅力にも改めて注目したい。手頃なレジャーとして見直されてほしいと思う。

最後に

役場の皆さん、町民の皆さん、3年間大変お世話になりました。至らぬ点多かったと思いますが、3年間皆さんの温かい励ましとお力添えのおかげで無事任期を終えることができました。ありがとうございました。皆さんのひとつひとつの出来事が印象深く思い出されます。「地域おこし協力隊」という名前に相応しい活動ができたかという反省の人が多いです。新たなスタートを切りますが、「地域おこし」の気持ちは変わらず持ち続けたいと思っています。

11月からは、立場は変わりますが引き続き鋸南町、安房地域、千葉県、そして日本全国の獣害対策の支援事業を通じて各地の地域振興や地域の活性化に携わっていきたく考えています。引き続き何卒よろしくお願ひ申し上げます。

あ、最後に3年間の活動を許してくれた家族に感謝します。これからも苦勞かけます。よろしくお願ひします。

